

岐阜県立飛騨高山高等学校

学校長 丹羽 俊文

学校住所 (岡本校舎) 高山市下岡本町2000-30 電話 0577-32-5320
(山田校舎) 高山市山田町711 電話 0577-33-1060

- 1 会議の名称** 平成25年度岐阜県立飛騨高山高等学校 学校評議員の会議 (第2回)
- 2 会議の構成**
- | | | |
|-----|-------|------------------------|
| 委員 | 清水 洋子 | 地元企業役員 |
| | 白野登美子 | 高山商店街振興組合女性部 (欠席) |
| | 谷口 寿夫 | 飛騨農業協同組合代表専務理事 |
| | 美素ひとみ | 岐阜県指導農業士 |
| | 米澤 久二 | 公認会計士 |
| | | (委員名は五十音順) |
| 育友会 | 折付 卓也 | 全日制育友会長 |
| | 渡邊 千春 | 定時制育友会長 |
| 学校側 | 丹羽 俊文 | 校長 |
| | 宮田 典佳 | 副校長 (全日制山田校舎) |
| | 大澤 正孝 | 副校長 (定時制・通信制) |
| | 森 勝彦 | 事務主幹 |
| | 板屋 光彦 | 教頭 (全日制岡本校舎) |
| | 中垣内隆夫 | 教頭 (全日制岡本校舎) |
| | 瀬木 宏一 | 教頭 (全日制山田校舎) |
| | 細江 雅紀 | 教頭 (定時制) |
| | 岡本 昌昭 | 教頭 (通信制) |
| | 富田 喜友 | 教諭 (全日制岡本校舎・生徒指導主事、記録) |
- 3 会議の目的** 学校運営等について、地域住民や有識者から幅広く意見を聞き、地域社会からの支援・協力を得て、開かれた特色ある学校づくりを推進する。
- 4 会議の開催** 平成26年1月24日(金) 14:40~15:50 高山市文化会館 2-2室
学校評議員4名、育友会2名、学校側10名が出席
- 5 会議の概要** (進行 中垣内教頭)
開会の挨拶 (宮田副校長)
学校長挨拶 (丹羽校長)
学校説明
全日制 岡本校舎 (板屋教頭)、山田校舎 (瀬木教頭)
定時制 (細江教頭) 通信制 (岡本教頭)
協議
学習成果発表会の感想及び学校への意見・要望等
閉会の挨拶 (大澤副校長)

(1) 学校長挨拶・学校説明

学校は年度の仕上げの時期になりました。3年生は卒業も間近となり、多くの生徒の進路が決定しました。1・2年生は進級が近づいています。

この会議は、地域の方々や保護者の代表の皆様から飛騨高山高校に対する幅広いご意見を頂戴し、学校の現状について反省し、対応策を考え、来年度の課題を設定していく貴重な会議です。本日は、忌憚のないご意見をよろしく申し上げます。

(2) 今年度の学校状況の説明

<全日制 岡本校舎>

- ・センター試験は22名が受験。二次試験に向かって取り組んでいる。
- ・3年生の進路状況は、進学は157名(66.4%)。内訳は四年制大学が34名、短期大学が29名、医療系の専門学校が9名、専門学校が56名。就職は79名(33.6%)。就職未定者3名。
- ・全学年で皆勤者(無遅刻・無欠席・無早退)は66.7%(約400名)。3年生83名が3ヶ年皆勤。小中合わせての12年間皆勤者4名になる見込みである。
- ・生徒の学籍異動が少ない。(退学者1名、休学者2名)
- ・オーストラリアからの留学生が約1年間本校で学び12月に帰国した。在校生徒にとっても大変ありがたい貴重な経験となった。

<全日制 山田校舎>

- ・年々進学する生徒が増えている。
- ・環境科学科が、森林保全活動や水環境の研究活動などの成果を地域社会へ還元し、地域の環境学習リーダー校として取り組んでいることが評価され、環境大臣表彰を受賞した。
- ・生物生産科は飛騨牛を全共に出展できるような牛に育てようと取り組んでいる。岐阜県の共進会では優等賞、家畜審査競技会で二連覇を達成した。また、「全国農業高校お米甲子園」では新たに設けられた1校のみに贈られる「最高金賞」を獲得し、日本一に輝いた。
- ・園芸科学科は「環境保全型農業推進コンクール」で県代表。園芸ボランティア部は県の優秀賞に選ばれ7月の全国大会で発表予定である。

<定時制>

- ・「楽しい学校」「居心地の良い学校」のため、わかる授業に取り組んでいる。今年度より、生徒に授業内容を評価してもらった。授業がわかりやすい(90%)。自分の取り組みが真面目になった(80%)などの回答があり、生徒の顔が明るくなっている。新入生の退学者もゼロであり、4年生も全員卒業できる見込みである。
- ・今後の課題は、ティームティーチングの授業でのより良い連携の在り方と、新たな就職先の開拓である。

<通信制>

- ・10代の生徒が増加している。
- ・生徒は中学時代不登校であったり、仲間とのトラブルや、集団に入れない、コミュニケーションが取れないなどの問題を抱え、小中の学習内容が定着しておらず、学習習慣も身につけていない。家庭でレポートに取り組めない生徒が多いため、登校しての個別指導に力を入れている。

平日にも学習に来る生徒が、昨年の84名から354名（延べ人数）と増加している。

- ・不登校で毎回親が送迎していた遠距離通学の生徒が、今日始めて自らバスで登校した。こうした成長が見られてうれしい。

（４）学習成果発表会の感想および学校へのご要望・ご意見等

意見1 学習成果発表会のファッションショーは、どのデザインも素晴らしく感動した。どの科の発表も生徒の実態に合わせて指導しており、頭の下がる思いでいる。

毎年本校の生徒さんを採用させてもらっているが、就職内定後に頂戴するお礼状の言葉が、毎年判で押したように同じである。残念だ。一言でも自分の気持ちが入っていると良いと思う。また、自分の思いを自分の言葉で話せない子がいる。特に男子の表現力が乏しいと感じる。学校と実社会は違う。自分の力で切り開く力と、自分の意見をはっきり表明できる力がつくよう今後ご指導をお願いしたい。

意見2 学習成果発表会は、地域と共にという内容で、短い時間で良くまとめてあり、感動した。先生のご苦勞の中で今日の発表があったと感じる。

飛驒のトマトやほうれん草栽培は昭和45年前後に今のスタイルが確立され、半世紀は続いている。今後さらなる飛躍をするために、若い高校生の発想に期待している。

景気がよいと都会に目が向いてしまい、地元就職希望者が減ってしまう。大学を卒業したら地元に戻ってきてくれるような指導をお願いしたい。高卒者も地元のために頑張ってもらいたい。

意見3 生徒の様子を見ると、きちんとした生活態度であることがわかる。以前と比較して学校の印象はとてよくなった。先生方のきめ細かい指導の賜と思う。こうした様子を学校はどんどん保護者や地域に発信してほしい。ちょっとした情報でも、親は安心する。

定通では、子どもたちの思いを受け止めながらしっかり指導してみえる。マニフェストにあるよう、社会に出た時に活躍できると良いので、一層の子どもたちへの支援を期待する。

飛驒地方の未来のためにも、将来的には地元に戻って地域を支える子ども達を育てて欲しい。

意見4 皆勤者が多くてびっくりした。退学者は少ない。学校が子ども達にとって登校しやすいところになっている証左だ。

通信制の個別指導はとても良いことである。かつて不登校で学習の方法が身につけていない子たちもいる。支援していただけるとありがたい。

意見5 普段あまり触れることのない山田校舎の発表を聴いて、その質の高さに感心した。

学校のことが新聞等に多くの記事が掲載され、うれしい。地域から信頼され、人気の高い学校になった。

部活動をやりたくて飛驒高山高校を希望している生徒もいる。生徒の活動に今後も支援をよろしくをお願いしたい。

意見6 「岡本は厳しい、山田は楽しい」という生徒の声も聞く。一つの学校なので、極力基準を合わせていけると良いと思う。

文化祭などの行事においても、岡本・山田・定時・通信が連携を密にして取り組めると良いのではと思う。

学校側 秀峰寮では両校舎全ての学科の生徒が在寮しており共同生活をしている。また、部活動は一つのチームとして、スケール・メリットを生かして取り組んでいる。

多様な生徒に対して、家庭環境等を考え、中学校との連携を取りながら、個に応じた細やかな指導を大切に取り組んでいきたいと考えている。

意見7 同級生は財産であり、地域社会で生きるにも人脈が必要である。一つの学校としてより一体感を高めてもらえるとよい。

6 会議のまとめ及び閉会

それぞれのご経験に基づいた上での、真摯なご意見や期待をいただきました。課題もいただきましたので、生徒、全職員で取り組んで行きたいと考えます。本日は誠にありがとうございました。